

## (5) 甲信越



甲信越地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更 )

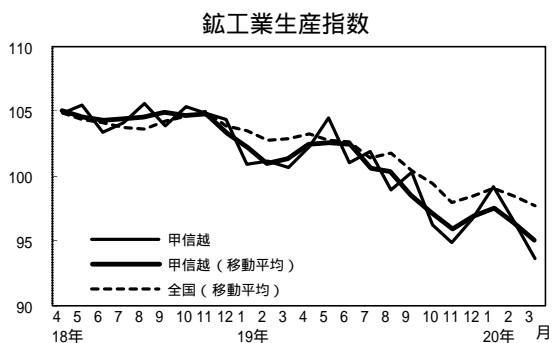
### 前回からの主要変更点

	前回(令和2年3月)	今回(令和2年5月)
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
鉱工業生産	弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

1 - 3月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、増加した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、増加した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。甲信越の最新月は速報値。  
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。  
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	3.5	0.4	0.3	2.1	4.4
汎・生産・業務用機械	24.8	6.4	0.4	4.9	8.9	10.6
食品・たばこ	12.0	1.9		1.6	1.2	
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	2.2	1.7	0.1	1.5	8.5
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	4.6	1.2	3.6	1.4	5.5
鉱工業	100.0	4.5	0.6	2.6	2.7	3.0

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。  
 2. 1 - 3月期、3月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食品・たばこは公表されていない。  
 3. 業種は内閣府にて分類。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.4%減、2月は同0.3%増、3月は同2.5%減となった。

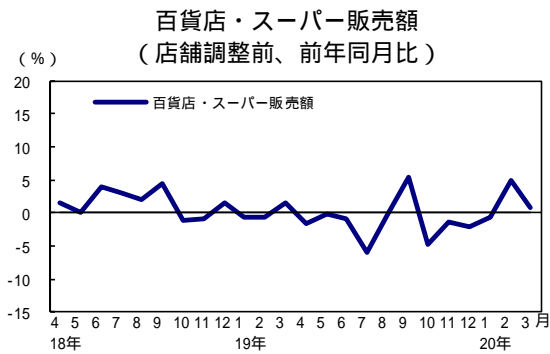
(2) 百貨店・スーパー販売額

1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

2月は、衣料品は減少したものの、食料品が増加したことにより、前年を上回った。

3月は、衣料品は減少したものの、食料品が増加したことにより、前年を上回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。



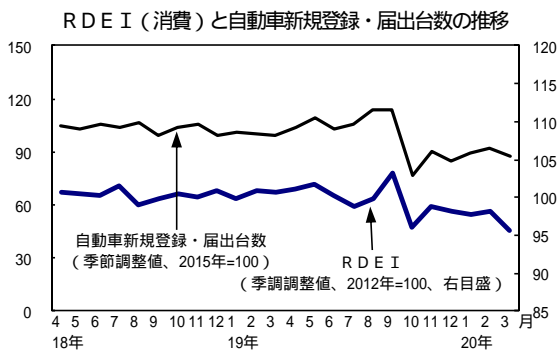
	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.5	0.4	0.3	2.5
百貨店・スーパー(*2)	1.6	0.7	5.0	0.9
乗用車(*3)	10.5	11.6	9.3	10.6
(季節調整値)(*3)	6.3	4.9	2.8	4.8

(備考) 1. 季節調整前(前期(月)比)(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

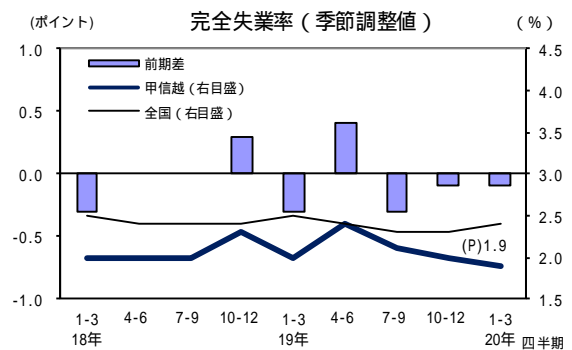
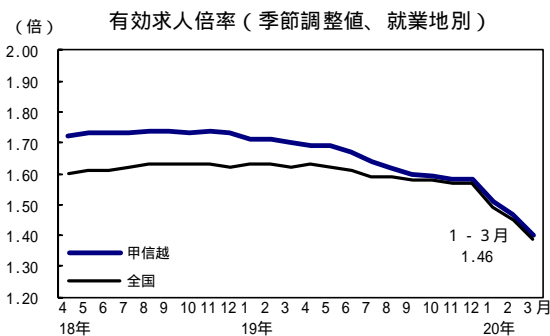
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年4月調査) 景気判断理由の概要

5. 甲信越

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野	判断	判断の理由	
		現状	先行き
現状	×	家計動向関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で商店街は閑散としており、客が来ない。ゴースタウンのようである(衣料品専門店)</li> <li>・新型コロナウイルスの関係で、ほとんどの客は商店街に出て来なくなっている。幸いにも当店は学校販売を中心にしており、今よりもう少し規制が緩やかだった4月の初めの入学時期に販売も終わったので、大変助かった。もう少し時期がずれていたら、販売が延期になったり、大変だったと思うところである(商店街)</li> <li>・車検、一般整備は、新型コロナウイルスの影響は余り受けずに、目標に達している。一方、新車を含む車両販売は、この先の見通しが立たないため、客が買い控える状況が続いている(乗用車販売店)</li> </ul>
		企業動向関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言で、デパートを始めほとんどの宝飾店はゴールデンウィークが終わるまで休業している。小規模な催事もほとんど中止で、わずかに開いている路面店も集客が見込めず、商品の問合せもほとんどない。今月の売上は前年比70%減である(その他製造業[宝石・貴金属])</li> <li>・新型コロナウイルスに対応した「内食」増加の影響が、販売額は微増である。アルコール、マスク等の必要資材の供給が滞りつつあり、全体では相殺される状況ではない(食料品製造業)</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で、資材の入荷も納入日程も不明で、発注者側も工事発注を自粛しているようである(建設業)</li> </ul>
		雇用関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人減のなか、新型コロナウイルスが市内で発生したことが追い打ちをかけ、更に購買意欲がなくなっている(人材派遣会社)</li> <li>・休業に関する相談が多くなっている(職業安定所)</li> </ul>
	その他の特徴コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>×：新型コロナウイルスの影響で、現在、食料品売場を除き、全館で休業中のため、売上がない(百貨店)</li> <li>×：新型コロナウイルスの影響で、仕事量が90%以上減少している(その他サービス[貸切バス])</li> </ul>	
	先行き	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先が見えない現状で、経済的不安がますます増大していき、更に厳しさが増すとみている(通信会社)</li> <li>・未曾有の感染症で、創業以来最悪の事業悪化を経験している。夏のハイシーズンまでには収まってほしいが、だらだらと長期化を懸念している(観光名所)</li> </ul>
先行き	×	企業動向関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の中止で、印刷物がほぼゼロである。取引先の伝票、封筒類の印刷も出て来ない状況が今後も続く(出版・印刷・同関連産業)</li> <li>・現状では、どうしようもない。資金繰りに追われている(窯業・土石製品製造業)</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、先行き予測が難しくなっている(電気機械器具製造業)</li> </ul>
		雇用関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や外出自粛が長引けば、社員、非正規社員の解雇にもつながっていく(求人情報誌製作会社)</li> </ul>
	その他の特徴コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>×：新型コロナウイルスの終息の兆しが見えない限り、その先は全く見えない(一般レストラン)</li> <li>×：新型コロナウイルスの終息が見えないなか、広告出稿の自粛や取引先の新型コロナウイルス関連での倒産により、当社の債権回収も厳しくなる(新聞販売店[広告])</li> </ul>	

(D I) 現状・先行き判断D I (甲信越)の推移(季節調整値)

